

CFmini 施工要領書

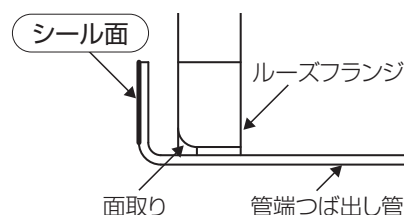
注意

- ① CFminiの施工をされる際には必ずお読みください。
- ② この施工要領に従わずに施工した場合、変形、割れ、漏水等の異常が発生する恐れがありますのでご注意ください。

1 施工前の確認事項

ガスケット、管端つば出し管のシール面に傷やほこり等がついていないか確認してください。

ガスケット補強リング



2 ボルトの仮止め

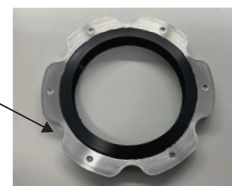
管端部を近づけてルーズフランジを引き寄せ、ボルトナットを2本手締めします。



3 ガスケットの挿入

フランジ間にガスケットを挿入します。挿入の際はボルトの軸がガスケット補強リングの溝部にはまるように差し込んでください。

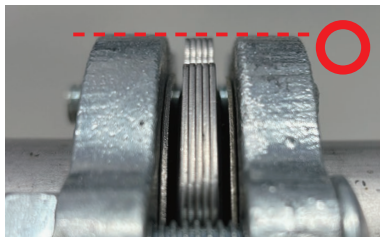
ガスケット補強リングの溝部(6ヶ所)



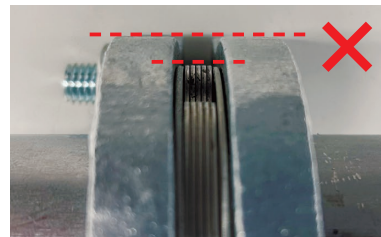
ノーラエンジニアリング株式会社

4 ボルトの仮締め

3本のボルトをボルト孔に通し手締めしてください。この際、ガスケット補強リング外径がフランジ外径と一致していることを確認してください。フランジのサイズに対してガスケットのサイズが正しくないと外径が揃いません。



揃っている



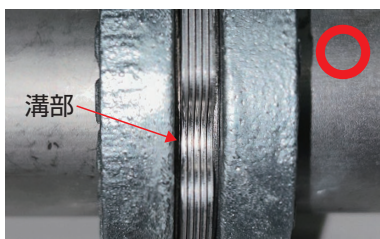
揃っていない

5 ボルトの本締め

3本のボルトは順番に均等に締め付けてください。必要なトルクが低いいため、従来のJIS形フランジより短時間で締め付けが完了します。フランジ・管端つば出し管・補強リングが密着した後は、強く締めすぎたり、長時間締め続けたりしないようご注意ください。過剰な負荷がかかると、フランジの変形や破損などの不具合が発生する恐れがあります。電動工具を使用する場合は、締め付けトルクを低めに設定することを推奨いたします。

6 確認

締め後はフランジ、管端つば出し管、補強リングが密着しているかを目視確認してください。目視確認は、ガスケット補強リングの溝部にて実施してください。



施工完了



未完了

隙間管理ゲージによる確認も可能です。確認は目視確認と同様にガスケット補強リングの溝部にて実施してください。



施工完了

(凸部が止まっている)



未完了

(凸部が入っている)



ノーラエンジニアリング株式会社

東京本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4 TEL: 03-3221-1682 FAX: 03-3221-3391
関西支店 〒533-0004 大阪府大阪市東淀川区小松4-10-30 TEL: 06-6815-1890 FAX: 06-6815-1891
中部営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-2 第17KTビル4階 TEL: 052-746-9195 FAX: 052-746-9196

<http://www.nowla.co.jp/>